

転炉スラグによる土壌pH矯正を核とした フザリウム性土壌病害の耕種的防除技術の開発

日時：平成26年12月16日（火）11：00～16：30

会場：盛岡市民文化ホール（小ホール）
岩手県盛岡市盛岡駅西通2-9-1（マリオス1F）

定員：200名

入場無料

基調講演

転炉スラグ資材を用いた土壌病害の被害軽減技術開発の背景と歴史（東京農業大学 後藤逸男）

研究成果

1. ホウレンソウ萎凋病の被害軽減技術の開発と実証（岩手県農林水産部 岩館康哉）
2. 品種の耐病性と育苗方法を併用したレタス根腐病の被害軽減技術（青森県産業技術センター農林総合研究所 岩間俊太）
3. 耐病性品種を併用したイチゴ萎黄病の被害軽減技術（宮城県農業・園芸総合研究所 大場淳司）
4. 転炉スラグ資材の粒状・粉状の違いがイチゴ萎黄病の被害に与える影響（福島県農業総合センター 畑 有季）
5. 太陽熱消毒と併用したセルリー萎黄病の被害軽減技術と微量元素の挙動（東京農業大学 大島宏行）
6. 転炉スラグ資材施用後の地力変化と施肥管理法および水田復元後の水稻栽培（青森県産業技術センター農林総合研究所 谷川法聖）
7. 転炉スラグ資材の施用が土壌微生物相に及ぼす影響（農研機構北海道農業研究センター 森本 晶）

お申込み期限：平成26年12月5日（金）

お申込み方法：お名前、ご所属（ご職業）を明記の上、下記宛てにお申し込みください。

E-mail: kadota@affrc.go.jp（門田 育生）

FAX: 019-641-7794

主催

独立行政法人農業・食品産業技術総合研究機構
東北農業研究センター